



●MyOPAC をご存知ですか?

MyOPAC とは、自分の好みに合わせてカスタマイズできる、Web 上の個人図書館です。ログインのための ID・パスワードはカウンターでこそっと教えます。是非ご活用ください。

□できること□

- 貸出や予約の確認・延長
- 自分が借りた資料の履歴確認
- 文献複写や現物貸借の申込み・状況確認
- パスワード変更
- メールアドレス登録・変更

図書館 HP から
アクセス

便利な MyOPAC その 1

～自宅から延長しよう

通常、貸出期間は 2 週間ですが、次の予約がない場合は、1 度だけ延長ができます。MyOPAC を使えば、延長が自宅からできて楽ちんです。

- 1) MyOPAC にログイン
- 2) 「貸出・予約状況照会」をクリック
- 3) 表示されたリストのうち、延長したい資料の欄の右端の「延長」をクリック
※ 但し、卒論特別貸出の延長は別途カウンターで。

◆Contents◆

<トピックス>

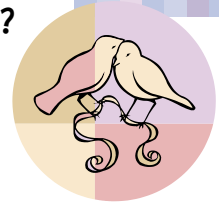
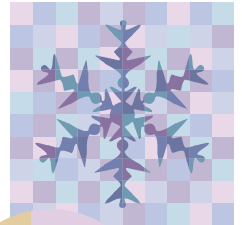
MyOPAC をご存知ですか?
～自宅から延長しよう
～アドレスを登録しよう
EZproxy をご存知ですか?

<お薦め図書>

「6人の容疑者」

<つぶやきライム>

読むこと、書くこと、伝えること



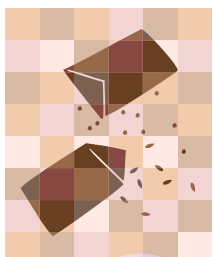
便利な MyOPAC その 2

～メールアドレスを登録しよう

予約資料の到着や返却期限日の事前お知らせがメールで届いたらいいと思いませんか? 図書館は皆さんのメールアドレスを知りません。是非 MyOPAC にメールアドレスを登録して、もっと便利に図書館を活用してください。

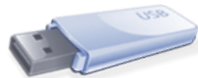
- 1) MyOPAC にログイン
- 2) 「メールアドレス登録・変更・削除」をクリック
- 3) アドレスの登録・変更(携帯電話可)

アド変したら、
MyOPAC での
変更も忘れずに!



USB メモリの

忘れ物にご用心!



大切なデータの詰まった USB メモリの持ち主に返してあげたくても、セキュリティの関係上、図書館では中を確認してあげることができません。ストラップをつけるとか、名前を書いておくとか、おやみに無くない工夫をしましょう。



●EZproxy をご存知ですか?

大学で契約して利用可能になっている、電子ジャーナルや各種データベース。本来は学内のコンピュータからしか利用できません。しかし EZproxy を通せば、自宅からでもデータベース等を利用できます。

ログインのための ID・パスワードはカウンターでこそっと教えます。現在は試験公開中なので、利用できるデータベースは限られますが、是非ご活用ください。

図書館 HP
からアクセス

<お薦め図書>

『6人の容疑者』上・下 ヴィカース・スワローフ著 子安亞弥訳



カラフルな表紙と同様に、6人の容疑者達の強烈な個性が光る。悪名高き青年実業家ヴィッキー・ラーイは、彼の無罪判決を祝うパーティで殺害された。容疑者は元高級官僚、女優、絶滅の危機に瀕する部族民、アメリカ人旅行者、携帯電話泥棒の青年、そしてヴィッキー自身の父親だ。富と権力、そして差別の残るインド社会を背景に、まったく違う人生を歩んでいた6人が殺人現場に居合わせる。

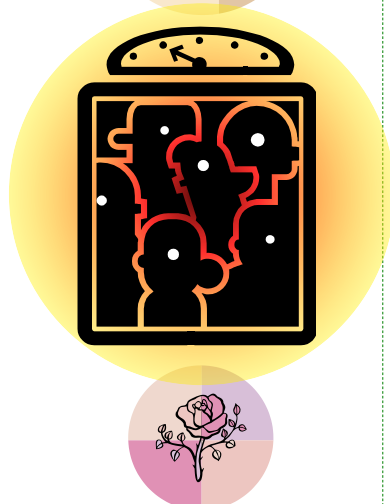
物語は、長年にわたってヴィッキーを追っていた調査ジャーナリストのコラムから始まる。6人の容疑者それぞれが、どのように人と関わり生きてきたのかがリアルに表現されているので、私とは全く別世界の彼らのことをグッと身近な存在に感じてしまう。

特に印象に残っているのは部族民のエケティだ。大自然の中で目に見えないものを信じて生きてきたエケティ。インドでの出来事を通して、何が正しくて何が幸せなのかということをお前が人生で何をつかむかにかかっているんだ。」

「決めるのはお前だ。どこにいたって、人生はみじめにもなるし、美しくもなる。それはお前が人生で何をつかむかにかかっているんだ。」

犯人がわかった今も、なぜか気になる作品だ。ぜひこの感覚を味わって欲しい。(福島)

【933.7/Sw3/1, 2 1F 閲覧室 (現在は 1F 新着コーナー)】



<つばやきライム(12)~図書館職員のメッセージリレー~>

読むこと、書くこと、伝えること



もの心ついてから今までにいったいどのくらい文章を書いてきたらうか。自由に書く日記や読書感想文、学習や仕事で必要に迫られて書くもの、はたまた規定の書式の履歴書・各種申請書の類まで数え切れないほど書いてきた。いつも自分の思い・考えが十分に伝わるかどうか気にしながら書いているが、未だに思うようには書けない。“文は言を尽くさず、言は意を尽くさず” という、思い・考えを他人に伝えることは難しい。

良い文章を書くことは、沢山の良い文章に触れることだと思う。「読み・書き・話す」を繰り返すことで、目的に応じた判りやすい構成・文章が書けるようになり、話し言葉でもよりの確に意を伝えることができるようになるのではないかな。ある時はそれがラブレターとなり、またあるときはレポート・論文とも成り得る。前者は熱く、後者は分かりやすく簡潔に書きたいものである。安直には手紙にしても論文にしても多数のハウツーものがあるが、そのまま使えるものではない。やはりまずは「読み」の土壌があって「書き・話せる」のだ。



学生が、学習・研究に必要な学術書を読むのは当たり前だが、小説やエッセー類、新聞にも目を通してほしい。自分にとって共感できる、目から鱗が落ちる、感動するような作品に当たるまでにはムダな時間もいっぱい費やすかもしれない。しかしそれもまた楽しい。私にも好きな作家・作品はあるが、まだどこかで私を待っている作品があるかと思うとワクワクする。また今まで考えもしなかった考え方や表現に出会うとき、心が弾む。



図書館には沢山の資料があって、誰かに読まれるのをじっと待っている。加えて、毎日洪水のごとく新刊が発行されている。例え一心不乱に読んだとしても、一生で私達が手にすることができるのは、そのホンの一部に過ぎない。限られた時間の中で、できるだけ沢山読み、考え、人と会話し、自分の思い・考えをより正しく伝えることができるようになりたいと願っている。(I.K.)



(けんさくくん)

もうすぐ春休みだね。社会人になったら長い休みもないっていうし、今のうちに旅行でも行こうかなあ。



(みいなちゃん)

春休みの前に試験よ！試験！！図書館にこもって勉強しなきゃ！



(ライム博士)

さすがみいなちゃん、やる気満々だね。図書館には新しく出来たラウンジでは水分補給も出来るから、長居もしやすいね。でもゲートの中はこれまでどおり飲食禁止だから、メリハリをつけて勉強しよう。



(けんさくくん)

こないだカウンター前のゴミ箱があふれてたよ。分別もできていないみたいだし、そもそもなんで館内であんなにゴミが出るんだろう。



(ライム博士)

図書館とか公共の場所での基本的なマナーなんだけどね。島大生がマナーを守れないとしたら、わたしは悲しいな。一人ひとりで自分たちの大学生活をよくしていこう。